



## 順化地区社会福祉協議会 ゆうゆうサロン



### 年に一回の児童との交流で

今回で11回目の順化小学校の子どもたちとの交流を行いました。最初に児童の歌を聞き、「上手やわ」「心が癒されるわ」とうれしそうに話しておられました。

その後、昔遊びの『ゴム飛び』を児童と一緒に楽しみました。『ゴム飛び』の『ゴム』は利用者さんが事前に輪ゴムをつなげて準備してくださり、児童は初めての『ゴム飛び』を楽しんでいました。

『ゴム飛び』の後には全員で、「クイズ県名あてビンゴ」をしました。これは協力者さんが準備してくださり、利用者さんも児童も「うーん」「どれかなあ」と考え、当てる「よしっ」と子どもも大人も一緒に喜んでいました。

核家族が進み、子どもとの関わりも少なくなった今、とても貴重な楽しい時間を過ごすことができました。

順化地区専任職員 森下 龍子

## 酒生地区社会福祉協議会 咲こうサロン



### 創作活動で脳の活性化を

酒生地区デイホーム（咲こうサロン）では、創作活動として、『携帯用エチケット袋』を作成しました。牛乳パックに和紙を貼り、中にビニール袋を収納する簡単な物ですが、男性利用者の方の中には、創作活動は苦手だと敬遠される方もいらっしゃいます。

「昔から手先を使った細かい作業は脳にいいと言われてますよ。手先を動かすと、脳の大きな領域の神経が刺激されるんですよ。」とお伝えすると、「そんなら、がんばってやらなあかんの」とおっしゃって取り組んでくださいました。

他の利用者の方も、出来上がった作品を見て「これあると便利やの、こんなほしかったんや、早速かばんに入れておこう」と、とても喜ばれました。

酒生地区専任職員 宮浦 幸子